ら手を延ばす取って何も従業員が出来なくなってから大馘首をやらうと始めたのだ　吾が伊藤俊夫君と村上一君とは遂にこの手に引かかって走きう芝浦やこの馘首反対職場大会の席上から　紅の手先き[illegible]のために検束されすでに日の目を言い渡されたのだ　会社は立に引かかりて社州を乱す者と言う罪名を勝手にきめ、首切ってしまったのだ

諸君も知って居る通り仲、伊藤両君は勇敢な斗士だ両名の首切りの次に来るべき何かそれは外ず彼の大量馘首の他の何ものでもないのだ　会社は既に人に者を出ないと言いふらして居るが若尾小林の洋行は何を物語るか　かねこて大馘首をって置いて海外へ逃げ出そうとする彼等の陰謀ではないか　この意味から我々産業及全芝浦の従業員は伊藤、仲両君の問題が外ずや吾々自身の問題となってることを知るが故にこの問題をあくまで戦ふことを全従業員諸君に宣言するものである

一、馘首絶対反対だ

一、大同団結万才

関東電氣芝浦分會

倉庫分會

別記

大馘首を前に連絡委員會に押しかけろ！

全組合員諸君！　去る廿日には大馘首計案の第一回連絡委員会が持たれ、其の決議によって廿一日には直ちに本社に歎願交渉に行った

別の報告書にある様な会社の態度は明かに会社が従業員に挑戦して来て居るのであり　大量馘首を眞向に振りかざして諸君を威嚇して居るものだ

「十アと腰の弱い従業員に何が出来るものか」と奴等は多分をくくってかゝって来たのだ

全組合員諸君　今こそ起つべき時だ　会社はこの不景気に三千人もオッポリ出すのだ　俺達の生血を吸って贅沢をしやうと言ふ奴等のドタマを引抜いてやれ！

来る廿五日にはこの意味の重要な第二回連絡委員会が持たれるのだ　この連絡委員会には全国から連絡委員がやって来る　之こそ俺達全従業員の生死を左右にする重大な役目を持つものだ　第二回連絡委員会は俺達の熱と力で押上げるんだ

七月二十五日だ午後七時だ　全組合員は各分会　職場へ

總動員して　本部へ押しかけろ

一九二八、七、二四、　関東電気労働組合